



人馬ともに悲願のGI初制覇

遅咲きの伏兵が競り合いを制して新スプリント王者に。鞍上はデビュー18年目で悲願のJRA・GI初制覇となった。

サトノレーヴは高松宮記念制覇後、香港、イギリスのGIをともに2着。史上6頭目の同一年春秋スプリントGI制覇へ向けて、1番人気の支持を集めていた。続く2番人気はこのレースで2年連続3着、高松宮記念でも3年連続2着のナムラクレア。他にも前年の覇者ルガル、一昨年の勝ち馬ママコチャなど実績馬が揃ったが、勝ったのはこれが1,200m戦初勝利となる11番人気の伏兵ウインカーネリアンだった。

レースは武豊騎手のジュンブレアが先導し、前半600mが33秒7と落ち着いた流れで進んだ。三浦皇成騎手のウインカーネリアンは大外16番枠から2番手を追走。3コーナー過ぎからジュンブレアに並びかけ、2頭で後続を離しながら直線に向くと、そこからは一騎打ちとなる。長い追い比べは最後にウインカーネリアンがアタマ差、前に出て決着。ここまで重賞2勝を含む全8勝がマイル以上だが、近走はドバイのアルクオーツスプリント2着など1,200m戦で安定感抜群の走りを見せていた8歳馬が大輪の花を咲かせた。

三浦騎手は嬉しいJRA・GI初制覇。デビュー年に武豊騎手の新人

年間最多勝記録を更新した逸材が、18年目にその武豊騎手を下して悲願を達成した。127回目の挑戦での初勝利はグレード制導入後で最多。「長かったですね。勝てない自分をオーナーやこれだけたくさんのファンが応援してくれました。騎手をやっていて一番幸せな時間です」と感慨深げに語った。

鹿戸雄一調教師も、厩舎所属の愛弟子の勝利に「この馬はずっと三浦騎手とコンビを組んで、GIはなかなか手が届きそうで届きませんでした。本当にありがたいです」と笑顔。父のスクリーンヒーローも自身が手掛けた馬で、その産駒でのGI勝ちにも「調教師冥利に尽きます」と喜んだ。

第59回 スプリンターズステークス (GI)

9/28 中山競馬場 1,200m(芝・右・外) 晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ウインカーネリアン	牡	8	58	三浦 皇成	鹿戸 雄一	1:06.9	⑪	[2][2]
2	ジュンブレア	牝	4	56	武 豊	武 英智	アタマ	⑦	[1][1]
3	ナムラクレア	牝	6	56	C.ルメール	長谷川浩大	1 1/2	②	[11][9]
4	サトノレーヴ	牡	6	58	J.モレイラ	堀 宣行	ハナ	①	[6][7]
5	ヨシノイスター	牡	7	58	内田 博幸	中尾 秀正	クビ	⑭	[6][7]

ウインカーネリアン
栄光の蹄跡

16

スクリーンヒーロー 114 S
ウインカーネリアン
コスモクリスタル(マイネルラヴ)
2017.4.16 生 新冠・コスモヴェーファーム



牡8 栗
三浦 皇成
1989.12.19 生 O型
58 (株) ウィン
鹿戸 雄一(美浦)

2025.8.24 札幌
キーンランドCGⅢ
16ト 1人 5(108)
57% 三浦 皇成
芝1200良 1:08.4

2025.4.5 ドバイ
アルクオーツスプリントGI
11ト — 2(114)
59.5% 三浦 皇成
芝1200良 1:07.8

2025.2.2 京都
シルクロードSGⅢ
16ト 4人 3(110)
59% 三浦 皇成
芝1200稍 1:08.6